

平成20年度事業計画書

1 シルクロードに関する資料の展示、保管

(1) 展示

●『龍と鳳凰—中国染織の流れ—』（4月1日～6月1日）：平成20年3月9日より継続
/開館日数：55日

●『平山郁夫 薬師寺大唐西域壁画・大下図』（4月1日～7月6日）：平成20年3月9日
日より継続 /開館日数：84日

●『平常展』（6月4日～7月6日）/開館日数：29日

●『増築完成記念—“平山郁夫芸術展 in 北京”凱旋展（仮称）』（7月13日～12月15日）

●『欧州写生絵巻』（10月8日～12月15日）

●『中央アジアの染織品（仮称）』（平成21年3月8日～3月31日）*次年度に続く

(2) 館外における共催展（受託事業）

●『平山郁夫鎌倉名誉市民記念』展（平成21年2月22日～3月9日予定）

開催場所：鎌倉芸術館

(3) 資料貸出事業

●『ガンダーラからバーミヤン遺跡』展（平成19年12月28日～平成20年7月6日）

開催場所：静岡県立美術館、福岡アジア美術館、福井市美術館

●『平山郁夫とシルクロードのガラス』展（平成20年3月15日～5月11日）

開催場所：古代オリエント博物館（池袋）

●『天馬—シルクロードを翔ける夢の馬—』展（4月5日～6月1日）

開催場所：奈良国立博物館

●『平山郁夫素描（仮称）』展（9月6日～10月19日）

開催場所：さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—（栃木）

(4) 主な収蔵品の画像資料を視聴覚コーナーのパソコン上並びにホームページ上にて公開

2 シルクロードに関する調査研究

(1) 収蔵品に関する調査研究

(1-1) 展覧会準備のための収蔵品調査

寄託品の調査・研究

収蔵品基礎資料見直しのための調査

(2) 委託調査研究

(2-1) シルクロードに関わる平山郁夫スケッチ帖の資料化（継続事業）

約 300 冊のスケッチブックのデジタル資料化（6 年計画）

第 4 年目の平成 20 年度はスケッチブック 30 冊（約 750 景）の写真撮影及び
デジタル・データベース化

(2-2) 平山郁夫取材旅行に関わる平山美知子フィールドノート 20 冊（約 2,500 頁） のデジタル資料化

3 シルクロードに関する国際交流

(1) 大学生、大学院生、専門家の、シルクロードに関する調査研究を支援（450 千円×1～2
名）

(2) シルクロード関連の研究者（敦煌研究院研究者など）の招聘（400 千円）

(3) 海外展への協力

(3-1) 『平山郁夫芸術展』

於：中国美術館／北京 期間：4 月 18 日（金）～4 月 26 日（土）

主催：平山郁夫芸術展実行委員会 読売新聞社（社）日中友好協会 中国美術館
中日友好協会 中国对外文化交流協会（財）平山郁夫シルクロード美術館

共催：株式会社電通、株式会社三越、国際交流基金

(3-2) 『平山郁夫シルクロード展』

於：三越エトワール／仏パリ 期間：5 月 21 日（水）～6 月 28 日（土）

主催：読売新聞社 平山郁夫芸術展実行委員会（財）平山郁夫シルクロード美術

館

後援：ユネスコ（予定） 在仏日本国大使館（予定） 国際交流基金

特別協賛：鹿島建設 三井住友銀行 三井住友海上 東芝

協力：全日空

4 シルクロードに関する講演、講習会の開催

(1) 展覧会に関する講演会の開催（年 4 回）

(2) 染織体験教室（年 5 回）

- (3) 日本画・墨絵教室（年1回）
- (4) シルクロード・セミナーの開催（年3回）
- (5) 青少年向け企画（夏休み企画 年1回）

5 シルクロードに関する研究成果の刊行ならびに出版物の作成および頒布

- (1) 紀要の刊行（海外調査助成金支給対象者による報告等）
- (2) 「平山郁夫シルクロード美術館ニュース」の刊行（年2回）

6 その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 地元小中学校の教員・生徒に対する美術館の開放及び学習協力、教材製作
- (2) 展覧会活動強化のため、展示棟を増築（平成19年度継続事業）
展示室、収蔵庫、映像室、ホール、倉庫等（増築床面積900㎡）
- (3) 音楽会の開催（年2回）